



ローリング・ストック

9月1日は防災の日でした。政府レベルでは、全閣僚が参加した南海トラフ巨大地震を想定した防災訓練も行われたほか、各地で同様の訓練が行われました。

みなさまのご家庭や職場でも、いろいろな防災・減災対策が行われている事と存じますが、『ローリング・ストック』という用語(和製英語です)をご存知でしょうか。

ローリングストックとは、非常時に備えて平常時から少し多めの食料や消耗品(たとえばトイレトーパーなど)を備えておき、定期的に消費・補充することで、備蓄した非常食等が消費期限切れとなるのを防ぐ手法です。いわば「食べながら備える」という事でしょう。

一般に非常食や非常用飲料の備蓄では、3年、5年という長期保存が効く製品を優先しがちです。これは一見「最適解」のように思われるのですが、逆に数年の間、一切「非常食」のことを考えなくなってしまうかもしれません。

確かに非常食の事を考えなくていいことは、楽なのかもしれませんが、消費期限が来た時に、慌てる事になってしまいます。

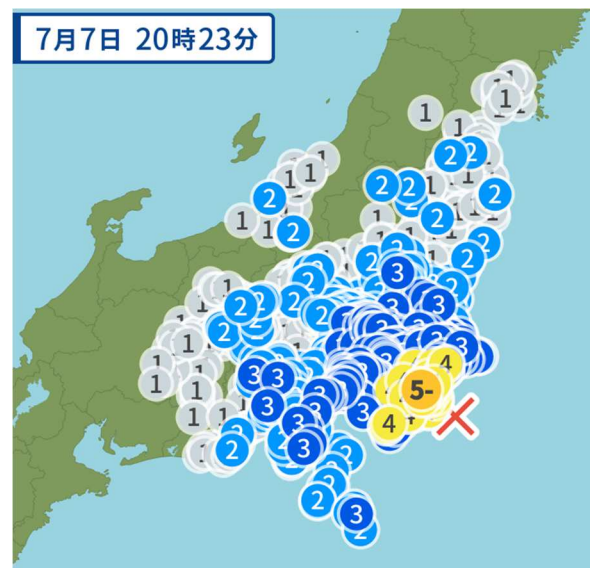
一般のご家庭では、非常時のためのストックというより、このローリング・ストックという、通常使うものの中で、非常時に優先して使う可能性の高い食品や飲料を少し多めに購入しておき、先入れ先出しを行って、消費期限が切れるという問題を解決する方策がより望ましいのではないかと考えます。

防災の日をきっかけに、皆様もご自宅や職場の非常食等の消費期限の確認をお願いします。

2018年7月・8月の地震活動概観

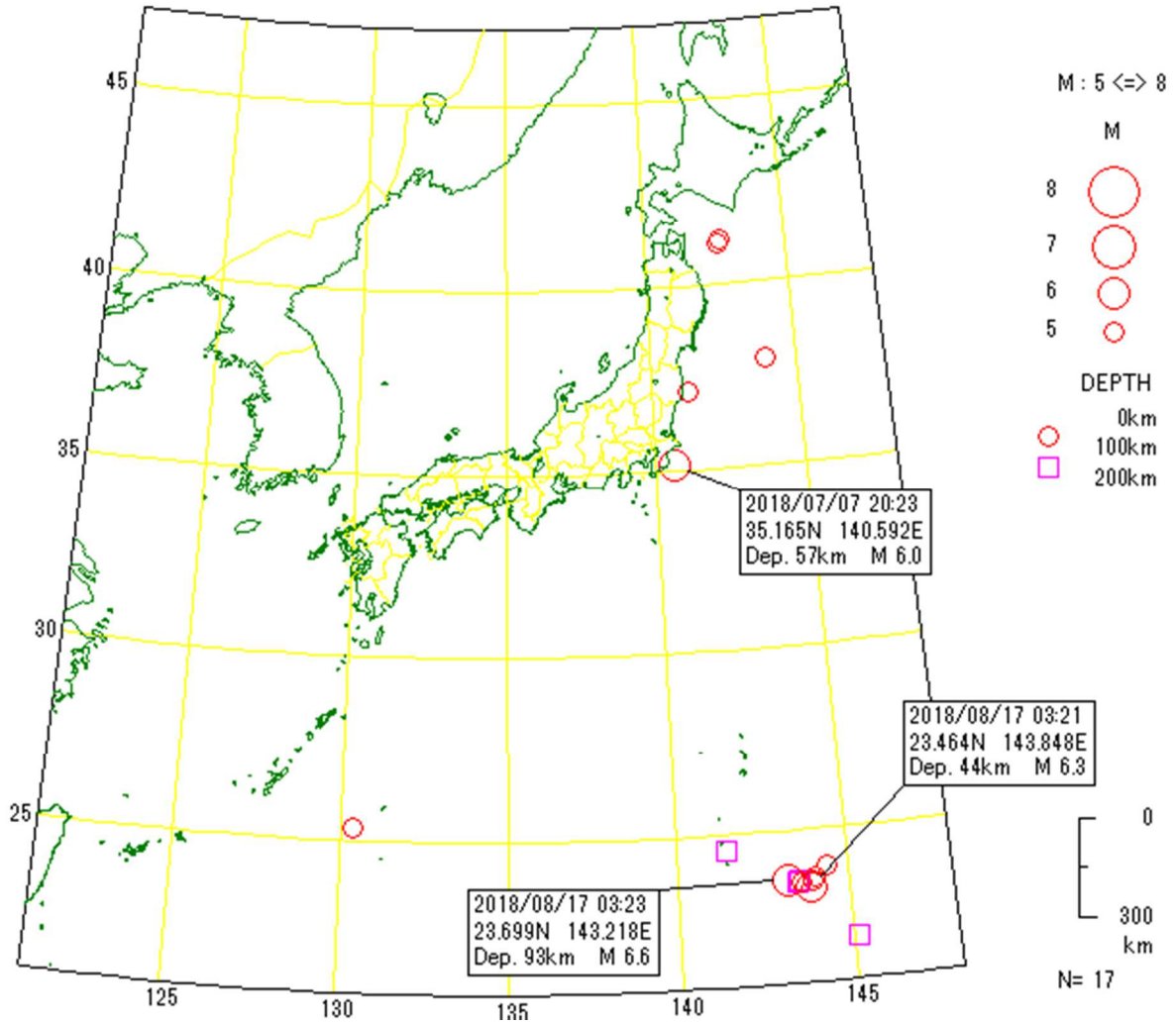
7月、8月の二ヶ月間で、日本およびその周辺海域では17個のマグニチュード5を超える地震が発生しました。なお、この二ヶ月間で最大の地震は、小笠原諸島の南東約300kmほどで発生したマグニチュード6.3の地震でした。小笠原諸島の南東の地域で17個のうちの10個のマグニチュード5を超える地震が発生していました。これらの地震はフィリピン海プレートの下に沈み込むマリアナ海溝に関連した地震と考えられます。

日本列島本土付近では、7月7日に房総半島沖で発生したマグニチュード6.0の地震が最大のものでした。この地震では、1地点で震度5弱を観測しましたが、被害は発生していません。右は気象庁による震度分布です。





2018 7/1 0: 0 -- 2018 8/31 23:59

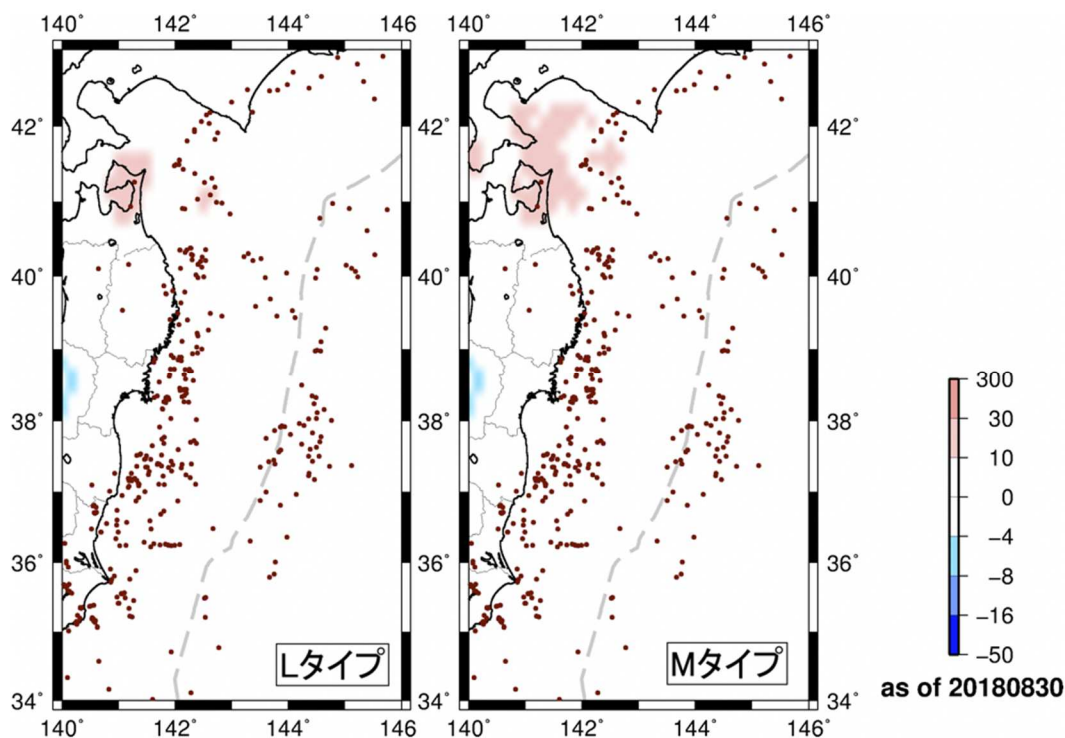


2018年7月・8月の日本列島およびその周辺の地震活動。小笠原南東海域でまとまった地震活動が発生していました。



東北地方海域の地下天気図®

8月6日のニュースレターに引き続き、東北地方、特に沖合での地震に焦点を当てた地下天気図解析です。この解析では、比較的規模の大きな地震(マグニチュード7クラス)の地震にターゲットを絞っており、各種パラメータチューニングを実施しています。下の図は東北地方海域の8月30日時点の地下天気図です。Lタイプ、Mタイプとも沖合での静穏化の異常(青いところ)が消えています。そして青森から北海道南部にかけて、地震活動が活発化してきているように見えますが、もともと地震数が少なく、この活発化の信頼性は少し低いと考えています。



下に8月6日のニュースレターでお見せした図を再掲しますが、現時点でも岩手沖と、千葉県北部から茨城県、福島県の海岸沿い(図中の黄色で示した地域)が地下天気図解析では地震発生可能性の高い地域と考えられます。

